

中年期における転職に関する研究

立命館大学応用人間科学研究科

対人援助学領域

発達・福祉臨床クラスター

寺田 名緒子

本研究の目的は、中年期における転職プロセスに影響を与える要因や感情を明らかにすること、転職後にどのような変化があるかを明らかにすることである。40歳から60歳までに転職をした中年期男性5名を対象にインタビュー調査を行った。

協力者を個別に分析した結果、転職プロセスにおける退職に影響を与えた要因として、人間関係、病気、転勤が抽出された。また、それらの要因に伴う感情としては、経済的見通しによる安心感、組織に対する不満、出世の限界、老いの自覚による限界感、将来への期待、将来への不安感があげられた。老いの自覚による限界感は中年期における心理的变化の特徴である。つまり、中年期の退職には中年期特有の心的変化が影響を与えている可能性があることが示唆された。

転職後の変化としては、職業的価値観の変化が認められた。変化した職業的価値観として、人の役にたちたい、物理的な豊かさよりも精神的な豊かさが重要であるという価値観があげられた。